

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network Now

2019 No.522

6 / 1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 2019年度 第1回理事会 開催される

2019年4月20日(土)、本会事務所で2019年度第1回理事会が開催された。理事24人の出席により、本理事会は成立した。

初めに、中澤会長より3つの話があった。1つ目は、「天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い」において、奉祝委員執筆により出版された『平成の御代をことほぎて』に、本会 中澤会長、日本救急救命士協会 鈴木会長（本会外部理事）が執筆されていること。2つ目は、来年4月1日から条件付きではあるものの、診療放射線技師が医療放射線の安全管理責任者として活躍できる環境が整ったことにより、医療放射線安全管理責任者の養成講習会開催の準備を2019年度に行うこと。3つ目は、診療放射線技師学校養成所指定規則の改正案について、10年後の診療放射線技師の育成のため厚生労働省へ折衝していく旨であった。

本理事会では、12の議題および24の報告があった。議題は「2019年度事業計画案一部修正について」「2019年度事業予算案一部修正について」「2018年度事業報告案について」「2018年度決算報告案について」「諸規定見直し案について」「今後のJARTIS運用について」「第80回定時総会議題について」「50年永年勤務表彰者の追加承認について」「災害支援認定診療放射線技師分科会の発足について」「医の倫理審査委員会の設置とJART委員会委員任命について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入退会者・除籍者・免除者の承認について」であった。

「2018年度事業報告案について」では、中澤会長より総括について説明があり、次いで庶務報告として会員の動向、事業報告として各委員会における事業の報告があった。続いて「2018年度決算報告案について」の報告があり、「諸規定見直し案について」では、熊代副会長より大規模災害規程、医療被ばく低減施設の認定に関する規程および投稿規程について



改正案の説明があった。「第80回定時総会議題について」では、6月1日(土)に日経ホールで開催が予定されており、2つの報告事項と4つの議案が挙げられた。いずれにおいても賛成多数で承認された。

報告は、「2018年度期末監査報告」「執行理事報告」「会員動向報告」「学術教育委員会報告」「新生涯教育システム委員会報告」「国際委員会報告」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「調査委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「災害対策委員会報告」「統一講習会実施運営委員会報告」「診療報酬政策立案委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「入会促進委員会報告」「人材育成委員会報告」「診療放射線技師国家試験問題評価委員会報告」「第35回日本診療放射線技師学術大会について」「本年度ワークショップについて」「被ばく相談カウント申請について」「地域理事報告」「医療被ばく低減施設認定更新報告」「委員会報告」および「今後のスケジュール」であった。

各報告事項についても活発な意見交換がなされ、本理事会は閉幕した。詳細な議事・報告内容は、第1回理事会議事録(抄)を参照されたい。

# ESR Michael Fuchsjaeger第一副会長との会議 開催される

2019年4月12日(金)、パシフィコ横浜でESR(European Society of Radiology)のMichael Fuchsjaeger第一副会長との会議が開催された。本会からは中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、児玉理事が出席した。ESRとの会議は今年2度目であり、毎年4月に日本で会議が開催されている。

会議の冒頭でMichael Fuchsjaeger第一副会長からECR 2019の報告があり、日本の診療放射線技師の参加者数は126人、学生の参加者数は20人であったこと、またVoice of EPOS Japanese Sessionを企画したことへの謝辞が述べられた。次に、ECR2020についての議論がなされ、本年もESR corresponding membership制度について日本の診療放射線技師向けに広報してほしいとの依頼があり、JARTとして広報することになった。このESR corresponding membership制度は、今年の8月31日までにメンバー登録する



と、ECR2020の参加登録費が通常の参加登録費からディスカウントとなり、99ユーロになる制度である。またECR2020の演題登録締め切りは10月10日であるが、同時にshape your skillsプログラムの登録を行い採択されると、ECR2020の参加登録料を全額免除さ



れ、かつ宿泊費の一部を支給するプログラムも昨年同様に行うとのことであった。こちらの案内も日本の診療放射線技師向けに広報してほしいとの依頼があり、JARTとして広報することになった。ちなみに、ECR2019では26人の日本の診療放射線技師がshape your skillsプログラムに採択されている。さらにISRRT meets Japan sessionを企画中であり、5月の理事会で承認されれば、ECR2020開催期間中に実施されるため、シンポジストなどをJARTから推薦してほしいとの依頼もあった。

国際的学術大会への研究発表促進は、本会会員や日本にとって非常に有益である。ヨーロッパにおける大きな組織が本会に依頼してきたことは大変名誉であり、JARTの国際的認知度も徐々に上がってきている。今後もESRとの協議を進め、多くの会員がECRへ参加することを期待する。

## 会員の皆さまへ～補償制度のご案内～

INFORMATION

公益社団法人日本診療放射線技師会の会員の皆さまには、「全員加入保険」として、業務中の賠償責任保険とけがによる死亡弔慰金・後遺障害見舞金が、公益社団法人日本診療放射線技師会の保険料負担で自動付保されています。

昨今の医療訴訟では、医療機関である法人の賠償責任とともに、医療従事者個人の賠償責任が問われる傾向にあり、またチーム医療による共同不法行為責任として、医師ならびに医師以外の医療従事者にも賠償責任が及ぶケースが増えてきています。万一の備えとして補償制度をご活用ください。

### ■ 全員加入保険

補償の種類	補償内容
①業務中の対人事故補償	1事故350万円・保険期間中1,050万円(免責金額なし)
②業務中の対物事故補償	1事故・保険期間中30万円限度(免責金額なし)
③けがによる死亡弔慰金・後遺障害見舞金 (国内外問わず24時間)	死亡の場合:39万円 後遺障害の場合:程度に応じて39万円の4%~100%

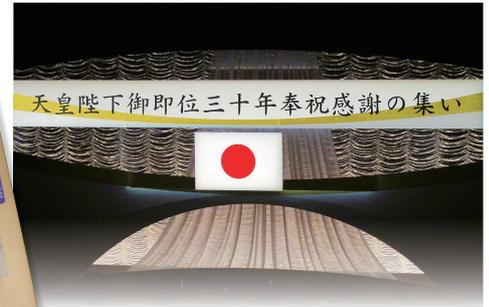
さらに高額な賠償事故に対応する上乗せ補償(任意加入保険)や、弁護士などの専門家への無料相談窓口もご用意しております。

補償の詳細や資料請求、またご不明な点がある場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

- 各種保険取扱代理店: (株)メディックプランニングオフィス  
TEL: 0120-226355 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)  
E-mail: hoshasen@medic-office.co.jp

## 天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い 開催される

2019年4月10日(水)、「天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い」が東京・隼町の国立劇場で開催された。奉祝国会議員連盟会長 伊吹文明、奉祝委員会会長 三村明夫による主催者式辞、内閣総理大臣 安倍晋三、衆議院議長 大島理森によるご来賓祝辞、各界からの祝辞が述べられた。祝賀コンサートの部ではNHK交響楽団有志とクラリネット奏者の伊藤圭、歌手のMISIA・松任谷由実・ゆずが祝賀演奏を行った。本会中澤会長も奉祝委員として参加した。当日は『平成の御代をことほぎて』(天皇陛下に捧げる奉祝感謝の声)が出版され、参加者約1,800人に配布された。



## 2018年度期末監査 実施される

2019年4月19日(金)午後1時より、本会事務所で監査監事(室野井廣、新開英秀、小川利政)による2018年度期末監査が実施された。

中澤会長より2018年度事業の総括が行われ、江田総務理事により庶務報告と事業ごとの報告が行われた。続いて小田理事により2018年度の決算報告が行われた。

これに対して、監査監事から口頭指導があった。主な指摘事項は、5%経費削減により黒字になったことは喜ばしいが、支出を抑えるために事業活動が低下することは困る。次年度は事業活動を活発に行い、会員を増やしなが、プラスマイ

ナス0になるような運営をお願いするとの内容であった。

中澤会長からは、2019年度は消費税率が改訂される予定のため、昨年度と同様に5%の経費削減を継続する。また医療法改正に伴い医療被ばく管理責任者の講習会なども検討していきたいと述べられた。

監査監事以外の出席者は中澤会長、熊代副会長、小田理事、江田理事、上島事務局長、木村専門職、地主専門職、加藤課長、久松係長、藪井事務局員および大森顧問税理士であり、3時間にわたり質疑応答が行われた。

## 医療被ばく低減施設認定の申請募集

医療被ばくに関して、診療放射線技師が責任を持って情報の開示や十分な説明をすることは当然である。本認定事業は、医療用放射線利用による医療被ばくを低減している施設が、本認定に向けて準備を行うことで、改めて医療被ばく低減への取り組みを振り返っていただき、国民に「医療被ばく低減(医療被ばくの適正化)」という情報を提供することで、医療提供側・患者側の双方に大きなメリットとなる。

この医療被ばく低減施設認定の審査は、本会から送られる調査による書面審査とサーベイヤーが施設まで直接審査に訪れて実施する訪問審査があり、訪問審査は書面審査に合格した施設に対して実施する。この認定制度は、真正性と公平性および継続性を確認するため、認定期間を5年間とした更新制度となっている。

この認定事業は時期を問わず募集しているが、審査料や認定料が発生するため自施設で予算を取っていただく必要がある。現在、審査費用は、書面審査料は無料、訪問審査料は審査項目に核医学を含まない施設が3万円、審査項目に核医学を含む施設が8万円、認定登録料が2万円であるが、JART6月号お知らせでご案内した通り、本年10月より金額が変更となる。9月末日までに申請いただいた施設は現在の金額での対応となるため、応募を予定している施設は、早めにお申し込みいただきたい。

詳細は、本会ホームページ <http://www.jart.jp/activity/teigenshisetu.html> をご参照いただきたい。

## 眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会 開催される

現在、眼の水晶体の被ばく限度の見直しに関して、引き下げの方向での法改正検討が進められている。これは、2011年4月に国際放射線防護委員会（ICRP）が発表した「組織反応に関するICRP声明」における勧告や、諸外国での眼の水晶体被ばく限度に係る法令の施行状況などを踏まえ、放射線審議会より、2018年3月2日（金）に「眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について（意見具申）」を取りまとめて関係省庁宛てに通知しており、厚生労働省においても所要の措置を講じることが求められている。

このため電離放射線障害防止規則（昭和47年労働省令第41号）について、水晶体の被ばく限度の見直し等に伴う所要の改正に資することを目的として、「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会」を開催することになり、本会にもこの検討会への参集が求められ、富田博信理事が出席している。

本検討会での検討事項は、眼の水晶体に係る新たな被ばく限度、およびその他必要な検討事項である。構成員は、

渥美法雄：電気事業連合会 原子力部長

漆原 肇：日本労働組合総連合会 総合労働局 雇用対策局 局長

奥村元子：（公社）日本看護協会 看護労働・確保対策担当 専門職

樺田尚樹：国立保健医療科学院 生活環境研究部部長

富田博信：（公社）日本診療放射線技師会理事

永井良三：自治医科大学学長

萩原亮一：全国電力関連産業労働組合総連合 産業政策局長

細野 眞：近畿大学 高度先端総合医療センター教授

松本吉郎：（公社）日本医師会常任理事

三井博晶：（公社）日本歯科医師会常務理事

山口直人：（公財）労災保険情報センター理事長

横山須美：藤田医科大学 医療科学部准教授

である。参考人として、各方面より、

赤羽恵一：医療被ばく研究情報ネットワーク（J-RIME）

池田隆徳：（一社）日本循環器学会

吉川公彦：（公社）日本医学放射線学会

辻 英貴：（公財）日本眼科学会

三上容司：（公社）日本整形外科学会

持田 智：（一財）日本消化器病学会

が参集している。

これまで検討会は4回開催され、第1回は2018年12月21日（金）に開催され、座長選出（永井良三）の後、放射線による健康障害防止に係る法令と現状についての把握、最近の動向について実態を各方面より聴取した。第2回は2019年2月6日（水）に開催され、主に眼の水晶体の等価線量限度について議論された。本会からも、富田委員提出資料「医療分野における放射線防護と被ばく低減効果」を提示、説明した。第3回は2019年3月20日（水）に開催され、引き続き眼の水晶体の等価線量限度、緊急作業員、除染等業務に係る眼の水晶体の等価線量限度について検討された。第4回は2019年4月17日（水）に開催され、眼の水晶体の等価線量限度について、および眼の水晶体の等価線量を算定するための実用量について議論が行われた。今までの議論により、線量限度改定は世界基準に準ずること、科学的に正論であることは確認されているが、現在の年間150mSvから改正により20mSvに引き下げた場合「現場の医師やスタッフの線量は20mSvを超える可能性があるのではないか？」などの議論もなされた。これを受け、実際の現場における術者水晶体線量把握のため、数施設のFeasibility Studyより測定の妥当性を検証している。その後、全国レベルにおいて、各学会より推薦病院（医師）を示していただき、実測データを取得し、線量限度改定に関してさらなる検証が実施される予定である。

線量限度引き下げは、医療現場の労働者保護の観点からすると十分理解できる。しかし、適切な防護方法の指導はかなり大きなウェートを占めることになる。線量適正化はわれわれ診療放射線技師の領域であり、ガイドラインも含めた教育の重要性は大きいと、本検討会の中でも積極的に発信している。以降、進展などあれば追って報告する。

これまでの議事録は、厚生労働省Webサイトに掲載されている。眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会の詳細は、こちらを参照されたい。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02959.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02959.html)

（文責：富田博信）

## 2019国際医用画像総合展 (ITEM) 開催される

2019年4月12日(金)から14日(日)までの3日間、パシフィコ横浜でJRC2019国際医用画像総合展 (ITEM) が開催された。本年は151社が出展しており、昨年よりも6社少ない展示であった。

第35回日本診療放射線技師学術大会(埼玉県)および第36回日本診療放射線技師学術大会(宮城県)への協力依頼のため、中澤会長、佐野副会長、熊代副会長と共に出席ブースを回り、広報活動を行った。

展示会場では、AIなどの分野において各社が新たな技術を競い合っており、また今話題の線量管理ソフトも出展されていた。

今後、私たち診療放射線技師は企業が開発した新技術を利用するだけでなく、企業と協力し合い、お互いに良好な関係を築いていかなければならない。そのために、われわれ診



療放射線技師も日々努力をしなければならないことを会場で感じるものであった。

(第35回日本診療放射線技師学術大会 大会長 田中 宏)

## 第36回 日本診療放射線技師学術大会 仙台会場視察報告

第36回日本診療放射線技師学術大会は、2020年10月23日(金)から25日(日)まで宮城県仙台市で開催される。大会の開催準備に先立ち、2019年3月15日(金)と16日(土)の2日間、本会役員と事務局長の8人が現地に入り、会場の視察を行うとともに、宮城県の学術大会実行委員と第1回実行委員会を開催した。実行委員会では、大会までのスケジュールの確認、JART本部企画について、大会プログラムについて、海外参加者の病院見学と市内観光について、会場についてなど、活発な意見交換が行われた。この中で、大会費用の

削減につながる新たな提案などもあった。

会場となる「仙台国際センター」は、広く設備も充実しており、地下鉄でのアクセスも良い。また会場の向かいには、青葉山・青葉城・広瀬川と仙台を代表する観光スポットが隣接している。大会参加者は、学術大会の合間に英気を養うことができるだろう。

今後、充実した内容で学術大会が成功裏に開催できるよう準備を進めていく。



受付・示説展示・機器展示・ドリンクコーナーなどが予定される展示室



仙台国際センター 大ホール

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー 開催報告

### 群馬県

一般社団法人群馬県診療放射線技師会・  
群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部 五十嵐 博

2019年4月21日(日)、群馬県立県民健康科学大学の多目的ホールで平成最後となる「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー(群馬県)」が開催された。本セミナーは、新人診療放射線技師を対象に日本診療放射線技師会と群馬県診療放射線技師会が共同で開催したものである。当日は医療機関のみならず大学院に進学した方2人を含め11人の参加があり、午前10時からのセミナーに臨んだ。

開講式では、一般社団法人群馬県診療放射線技師会 後閑隆之会長からあいさつがあり、卒業教育の重要性などについて話された。その後、群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 上原真澄教授の「胸部単純撮影講座」が行われた。上原先生からは「胸部撮影を例に説明をするが、一般撮影全般に関わる内容である。ここでしっかり基礎知識を得てほしい」と述べられた。続いて筆者(五十嵐)から「エチケット・マナー講座」および「医療コミュニケーション」の講義を行った。「友達感覚と異なるコミュニケーションが必要になる」ということで、患者やその家族、上司などと接する際のマナー

やコミュニケーション技術について解説した。さらに医療法人石井会 渋川伊香保分院 青木里佳先生から「医療安全」および「感染対策」についての講義があった。医療安全では、事故などの概要とそのメカニズムについて分かりやすく説明があった。感染対策では、手洗いの注意点やマスクやガウンなどの個人防護具の着脱時の注意点などについて、動画で補足しながら講義が進められた。最後は、後閑隆之会長から「入会案内」があり、日本診療放射線技師会と群馬県診療放射線技師会についての説明の他、生涯教育の紹介、学術大会などの案内があった。閉講式で、受講生の皆さまに修了証をお渡しし終了した。就職して3週間経過した時期に開催したため、分かれて間もない同級生らと業務内容や職場環境について情報交換ができたようであった。閉会式後も教室に残り、笑顔で話をしている姿が印象的だった。

最後に、本会事業にご理解いただき、ご支援・ご協力いただいた上原真澄先生、青木里佳先生に感謝申し上げます。

### 佐賀県

国立病院機構嬉野医療センター 小濱 義幸

一般社団法人佐賀県放射線技師会では、2019年4月20日(土)に「2019年度フレッシューズセミナー」を開催した。

地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館を会場に、エチケットマナー・医療安全・医療コミュニケーション・腹部症例画像・感染対策の5項目の内容で開催し、ここ数年では最も多い15人のフレッシューズにご参加いただいた。

#### ①「エチケットマナー」

国立病院機構嬉野医療センター 小濱 義幸

学生とは違う、社会人として仕事に臨む姿勢や身だしなみ・医療接遇などについてお話しさせていただいた。某TVドラマでは、主人公である診療放射線技師が注目されている。「皆さんの行動が、診療放射線技師とはこのようなものと患者さまに思われます」。個人の行動が病院の評価となり、診療放射線技師全体の評価につながるため、責任ある行動を取る必要があると説明した。

#### ②「医療安全」 佐賀大学医学部附属病院 北村 茂利

リスクマネジメントの観点から、ハインリッヒの法則の解説、インシデントの原因分析・予防方法などについて、佐賀大学医学部附属病院での事例・取り組みを交えて分かりやすく講演いただき、医療安全の重要性を再認識した。

#### ③「医療コミュニケーション」 西田病院 馬場 笑伊

医療を行うに当たり、人と人との関わりが生じる。その際のやりとり「コミュニケーション」が重要であること、表現により異なる解釈が生じる事例を提示し、ご講演いただいた。

「きょうこつ撮影」⇒「胸骨撮影?」「頬骨撮影?」表現によって解釈が異なる。上手な物事の伝え方を学んだ。



#### ④「腹部画像症例」

地域医療機能推進機構佐賀中部病院 中富 崇史

当直で不安にならないようにとの思いで、さまざまな腹部症例画像を提示し症状および撮影のポイント、読影のポイントについて分かりやすくご講演いただき、急性腹症について理解を深めることができた。

#### ⑤「感染対策」 佐賀県医療センター好生館 濱田 洋

感染対策として、感染経路および感染予防策・スタンダードプリコーションなどについてご講演いただいた。また好生館での感染患者病棟撮影の対応法を提示していただいた。その後、参加者全員でマスク・手袋・エプロンの着脱法と手洗いチェッカーで手洗い確認の実習を行った。初めて手洗いチェックを経験した参加者が、洗い残しの多さに驚く場面もあった。



### ⑥ 「技師会の紹介」

一般社団法人佐賀県放射線技師会 会長 柿本 信二  
技師会紹介・勧誘として、柿本信二会長から日本診療放射線技師会および佐賀県放射線技師会の活動や取り組みについて紹介があり、多くのフレッシューズが興味を示していた。

その後の意見交換会では、参加者全員が自己紹介を行い、さまざまな話題で談笑し交流を深めた。同世代ということもあり意気投合し、横のつながりの大切さを実感したようであった。

今回のフレッシューズセミナーは、参加者の積極性が感じられ充実したセミナーとなった。

最後に、本セミナー開催に尽力いただいた佐賀県放射線技師会の皆さま、会場を提供していただいた佐賀県医療センター好生館の皆さまに感謝申し上げます。

(会長よりひとこと)

4月に開催時期を早めることで、小規模施設の技師としての新人研修に活用してもらえたと思います。その結果、多数の参加が得られたと考えられ、うれしい年度スタートとなりました。

## エレベーターの乗り方

シリーズ連載  
series serialization

五感 — five senses

エレベーターの乗り方をご存じでしょうか。

上か下の目的の方向のボタンを押すだけの簡単な操作ですが、以前、私は次のような光景を目にしました。

ある人が、エレベーターに乗ろうとして1階で待っていました。この建物には地階はなく、エレベーターは1階から6階まで各階を結ぶものでした。当然、その人がいるのは1階なので、上向きのボタンが1個あるのみです。エレベーターはというと、6階で止まっているのが表示で確認できました。「エレベーターを待つ人がいる」という、日常的な何気ない光景です。

ただその人は、いつまでたってもエレベーターのボタンを押しませんでした。しばらくするとこう叫びました。「誰か、エレベーターを下に降ろしてくれ〜！」

この人にとって、上下のボタンはエレベーターのコントロールを意味していたこととなります。地階のない1階で待っていたため、上げるボタンはありますが、下げるボタンが見当たらず、助けを求めたのでしょう。私は、エレベーターの乗り方で

あるこの単純な動作に、全く別な捉え方があったことに大変驚きました。

周りの方からは、今どきエレベーターに乗ったことがない人と思われたのではないのでしょうか。エレベーターのボタンは、目的の方向を選択するためのものですが、説明書があるわけではありません。個々が、その感覚のまま解釈をするわけですから、ボタンをどう解釈しても何ら問題はありません。同じ物事に関して、おのおのが違った常識を持つことは意外にあり得ることかもしれません。

常識といえば、私が学生の頃、先輩医師が後輩医師にこのような話をされたことを思い出します。「医者の方の常識と看護師の方の常識が同じだと思うあなたの常識が非常識だ」

考え方に食い違いがあったとしても、お互いの常識のロジックに敬意を払いながら、歩み寄るべきではないのでしょうか。常識は必ずしも一致しないという常識を教えられた大切な思い出の一コマです。  
(文責：東北地域 船水憲一)

## 第35回日本診療放射線技師学術大会についての お知らせ

INFORMATION

第35回日本診療放射線技師学術大会の演題募集につきましては448演題の応募を頂きました。多数の応募を頂き心より感謝申し上げます。

本大会では座長を2人体制とさせていただきます。近年、他学会でも演者フォローのため座長2人体制を取っており、本大会でもこれを採用し学術大会を盛り上げていこうと思います。また日本診療放射線技師会企画の賞に加え、最優秀演題賞などの埼玉大会における賞をたくさん企画しております。演題登録された会員の皆さま方におかれましては、ぜひ楽しみにしてください。

多数の診療放射線技師の皆さまのご参加をお待ちしています。

(第35回日本診療放射線技師学術大会 大会長 田中 宏)

INFORMATION

# 第9回 第35回 日本診療放射線技師学術大会 埼玉への道

## 埼玉県診療放射線技師会 編集情報委員会より



### そして大宮（大会場の周辺案内）

これまで「埼玉への道」は、埼玉県全体にスポットを当て、ご紹介させていただきました。今回は開催地の大宮に再び焦点を当て、会期中にぶらり散歩できる範囲のご紹介です。

**朝**、会場へ向かう前に公園散歩はいかがでしょう。大宮公園には氷川神社・NACK5スタジアム大宮だけではなく、県営球場・児童遊園地・小動物園・日本庭園などもあります。またジョギングコース(1,100m)も整備されており、木々の緑や池の景色を眺めながら気持ちよく走れます。コース上には距離表示がありタイムも計測しやすいので、ランニングが趣味の方であればお勧めです。大会最終日にはモーニングランの企画があります。詳細は、大会ホームページに掲載していますので、よろしければご確認ください。

**昼**、学会会場から外に出れば、大宮駅西口側の繁華街が広がっています。駅前には、渋谷109的存在の「アルシェ」があります。ショッピングはもちろんですが、FMラジオ「NACK5」の公開スタジオがあります。タイミングが合えば、有名パーソナリティーとゲストのトークを視聴できるかもしれません。そしてアルシェ隣、JACK大宮ビルには「さいたま市宇宙劇場」があり、全天周8Kデジタル映像（プラネタリウム）を体験できます。ちなみに、JACK大宮ビルの周りにはニューシャトル（埼玉新都市交通）の線路があり、ビルの周りを走るかわいらしい車両は「大宮二十景」に選ばれています。

そして大宮駅東口には商店街が並んでおり、飲食店の多さに目を引きます。また大宮駅内（エキュート大宮）にも多くのお店が入店しており、食事やお土産選びも十分楽しめます。

**昼その2**、大宮は盆栽も有名です。大宮公園駅（東武野田線）と土呂駅（東北本線）を挟んだ地域一帯は、昔から庭師や盆栽職人が住んでおり、現在は大宮盆栽村として盆栽美術館などの施設があります。そのため「名品盆栽の聖地」として知られており、国内だけではなく、海外からも多くの愛好家が訪れます。

また、さいたま新都心駅（東北本線）には「さいたまスーパーアリーナ」「コクーンシティ」などがあり、周りの街と比べるとユニークな建築物が見られます。なお、本大会の懇親会会場「プリランテ武蔵野」は、さいたま新都心が最寄り駅になります。

**夜**、大宮駅周辺は夜も大変にぎわいます。食は和・洋・中・B級グルメと多彩で、おしゃれなお店から下町の食堂を感じるレトロなお店まで、好みのお店がきっと見つかると思います。また地元のお酒として、氷川神社の参道近くにある「氷川の杜」では、さいたま市の地ビール「氷川ブリュワリー」が提供されているほか、会場のソニックシティから徒歩3分の所にある「KURAND SAKE MARKET大宮店」では、埼玉の地酒が飲める「埼玉県ブース」があります。

そして東口南側一帯は、埼玉県No.1の歓楽街「南銀座」があります。いわば「埼玉版の歌舞伎町」です。眠らない街「大宮」。翌日のことを考えて、適度に楽しんでみてはいかがでしょうか。



②アルシェ



①大宮公園ジョギングコース



③JACK大宮ビル



④大宮盆栽美術館



⑤さいたまスーパーアリーナ



⑥氷川の杜



⑦南銀座





第35回 The 35th  
Japan Conference of Radiological Technologists(JCRT)

# 日本診療放射線技師学術大会

## 国民と共にチーム医療を推進しよう

*Let's promote team medical care with the nation*

# 彩の国から未来へ

*From Sainokuni to the future*

会期  
Date

2019年9月14日(土)~16日(月・祝)  
September 14(Sat) -16(Mon) , 2019

会場  
Venue

大宮ソニックシティ  
Omiya Sonic City

会長  
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)  
Yasuo Nakazawa (Japan Association of Radiological Technologists)

大会長  
Chairman

田中 宏 (公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 会長)  
Hiroshi Tanaka (Saitama Association of Radiological Technologists)

主催  
Host

公益社団法人日本診療放射線技師会  
Japan Association of Radiological Technologists

共催  
Cosponsor

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
Saitama Association of Radiological Technologists

後援  
Support

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare  
埼玉県  
Saitama Prefecture  
さいたま市  
Saitama City  
さいたま市教育委員会  
Saitama City Board of Education

大会事務局  
Secretary Office

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番3号  
TEL:048-664-2728 対応時間平日(月~金曜日) 9:00~15:00  
Saitama Association of Radiological Technologists Saitama Prefecture Saitama City Kitaku Miyaharacho 2-51-39  
Phone:+81-48-664-2728 Correspondence time Weekday (Monday - Friday) 9:00~15:00



INFORMATION

## 診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

### ■フレッシューズセミナー開催予定：

熊本	6月8日(土)	熊本大学医学部附属病院 東病棟	12階多目的室
岩手	6月9日(日)	岩手医科大学附属病院 循環器医療センター	3階講義室
青森	6月15日(土)	八戸地域地場産業振興センター ユートリー	5階視聴覚室
静岡	6月15日(土)	静岡県放射線技師会事務所	
奈良	6月16日(日)	奈良県社会福祉総合センター	
大阪	6月16日(日)	大阪がん循環器病予防センター	
愛媛	6月16日(日)	愛媛大学医学部 本館	基礎第二講義室
宮城	6月22日(土)	仙台市戦災復興記念館	4階第1会議室
香川	6月29日(土)	瓦町FLAG	8階 市民交流プラザIKODE瓦町
和歌山	6月30日(日)	セイコーメティカル株式会社	3階会議室
高知	6月30日(日)	高知市総合あんしんセンター	2階 高知県診療放射線技師会事務所 会議室
長野	7月6日(土)～7日(日)	西条温泉とくら	
岐阜	7月6日(土)	シティホテル美濃加茂	
兵庫	7月6日(土)	宮野医療器株式会社 大倉山別館	6階ホール
富山	7月7日(日)	富山大学附属病院	多目的研修室
京都	7月7日(日)	ホテルセントノーム京都	
長崎	7月7日(日)	JCHO 諫早総合病院 東棟	2階会議室
福井	7月13日(土)	福井県立病院	5階大会議室
大分	7月20日(土)	大分記念病院	多目的ホール
石川	7月21日(日)	石川県済生会金沢病院	2階討議室
三重	7月21日(日)	鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス	B講義棟1階 3513教室

## 6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ 放射線治療分科会生涯教育セミナー：	滋賀	6月15日(土)
■ 医療被ばく低減施設認定取得セミナー：	北海道	6月22日(土)
■ モニタ精度管理セミナー	東京	6月22日(土)
■ 放射線取扱主任者定期講習：	東京	6月28日(金)
■ 「救急医療学」(実習)講習会：	福岡	7月7日(日)
■ 放射線被ばく相談員講習会：	東京	7月14日(日)～15日(月・祝)
■ Ai(死亡時画像診断)症例報告会：	東京	7月20日(土)
■ 医療画像情報精度管理士セミナー	東京	7月20日(土)
■ 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会：	岡山	7月27日(土)

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000004api.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html)

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。